

新収古文書の紹介

有田郡山保田組大庄屋

堀江家文書

昨年度文書館で新たに収集した古文書を紹介します。

この堀江家文書は、有田川町教育委員会で所蔵する『清水町役場文書』あるいは『堀江家文書』と呼ばれる古文書と同一出所と考えられるもので、古書店から購入しました。

木箱一箱に約一〇〇点の文書が入って

おり、寛保二年（一七四二）以降の「御

用留」、組内各村の「就切支丹御改家並判

きりしたん（に）つきおあらためいえなみはん

形帳」や『紀伊続風土記』の調査記録な

けいぢょう

どがあります。

堀江家は、三代にわたって大庄屋をつ

とめた家で、展示している文書は、慶応

二年（一八六六）正月から書き始められ

た「御通留」です。

お
かよいごめ

筆者の堀江亀太郎は、明治になって山

やま

保田組郷長をつとめていたことから、「御通留」には、明治政府や県からの命令や伝達事項が記されており、大変貴重な資料です。

写真は、明治四年（一八七二）十一月に行われた府県統廃合を知らせる文書を写した部分です。

大政奉還以後、和歌山県は数度の変遷を経たのち、府県統廃合によって現在のかたちとなりました。

県では、これを記念して平成元年に条例を制定し、十一月二十二日を「ふるさと誕生日」としています。

今年は、和歌山県誕生150周年を迎えます。「御通留」は、和歌山県誕生の「生き証人」と言えるでしょう。